

ポスト後期研修の再研修を希望する**一般医師** および
在宅療養を担う**多職種** のための

超高齢社会に対応する総合診療医養成事業
文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業
「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」



第3期 在宅医療インテンシブコース

高齢者の生活機能を支えるアプローチ

最後まで前向きに生きるための在宅療養をプロデュース

第3期
5月18日開講

受講者募集

対象者 **一般医師**

後期研修を修了した医師（病院勤務医）
臨床への復帰を考える医師
在宅医療の充実をめざす医師

対象者 **在宅療養を担う
あらゆる多職種**

日程 平成27年 5月18日～
月曜日 水曜日 19:00～21:00

会場 千葉大学医学部附属病院
および 千葉大学亥鼻キャンパス 他

週2回開講

週1回の受講で、1年で修了
週2回の受講で、6ヶ月間で修了可能
講義は、**オンラインビデオで受講可能**
一部のみ受講も歓迎

インターネット
学習サイト <http://www.gevity.net/chibazaitaku/moodle/>
e-ラーニングのみの学習でも修了可能です

- 医師と多職種がともに学び、高度な多職種連携による在宅医療を目指します。
- 在宅での健康管理や看取りに取り組む医師と多職種を養成します。
- 在宅医療の実践を通じた臨床研究を推進します。
- 多職種がわかりあえる言葉やものさしを用い、それぞれの職種の強みを活用します。
- 多忙の中で不足しがちなケアのふり返りを職種を超えて共有し、より良いケアを実現します。



受講の流れ

- 【募集人数】 一般医師 若干名 在宅療養を担う多職種 25名
【応募資格】 在宅療養 在宅医療・介護 高齢者医療・福祉に関わる
医師およびあらゆる職種
【修了】 修了要件を充たすことにより、修了証を授与
【受講料】 今期は**無料**（第4期より受講料有料化を予定しています）
オンラインのみの受講も受け付けています。

申込方法

下記のURLから登録してください。

<https://jp.surveymonkey.com/s/GKHBFVR>

どうしても登録ができない場合は、問合せ先まで。



申込登録QRコード

問合せ先

千葉大学医学部附属病院
地域医療連携部

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1
電話 043-222-7171 (内線6471) FAX 043-226-2632
E-mail: zaitaku-iryoo@chiba-u.jp
<http://renk-chibap.jimdo.com/未来医療研究人材養成拠点/>
<http://www.gevity.net/chibazaitaku/moodle/>

千葉大学病院
在宅医療インテンシブコース

第3期

ケアを見直そう
同じ物差しで考え方を共有しよう
認知症のケアを工夫しよう
緩和ケアの基本を再確認しよう
多職種がお互いを知り合おう
療養しやすい地域を作ろう

科目	コマ数	講義	演習	グループワーク	インターネット 動画ライブ配信	e-ラーニング	ねらい
【メイン科目】 全38回 教室受講・e-ラーニング・サブ科目受講で履修することができます。							
ガイダンス 概論 制度	3	○	○	○	○	○	在宅医療とは何かという問題をとりあげ、歴史的使命を明らかにします。在宅医療の発展の可能性を考えるとともに、在宅医療で直面する「困った規則」について取り上げます。
高齢者の こころのケアと 認知症	7	○		○		△	現場で困ってしまうことが多い行動・心理症状を含む精神症状に関して、精神科医療の立場からの考え方を元にしなが、地域で認知症の人を支えるための医学にとどまらないとくみについて説明します。
緩和ケア	5	○		○	○	○	在宅の緩和ケアの環境が大きく改善し、高いQOLを実現しています。その環境を活用するための、スピード感と質を追求します。
ICPC※	4	○	○		○	○	日本では、まだまだ知られていないプライマリケア国際分類を、在宅医療で遭遇した興味深い事例の記載や、現場から生まれるリサーチクエストの明確化に役立てましょう。
ICF*	5	○	○	○	○	○	国際生活機能分類(ICF)を「納得して使える」を到達目標としています。
医療統計	6	○	○		△	○	在宅医療の現場での問題を統計的に表現し、分析することで、新たな知見を得ることができます。臨床的な研究の基本についても再入門します。
在宅医療 各論	7	○		△	△	△	在宅医療に従事するにあたって、意外に知らなかったことや、大きな進歩がみられるトピックを取り上げます。
研究発表会 修了式	1				○		これまでの受講者の研究の進展状況の発表と、第3期の修了式を行います。
【サブ科目】 メイン科目の代替の他、補講や発展科目として受講することができる選択科目です。							
ICF (サブ1)	3		○			○	『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改定版(障害者福祉研究会編集)』に親しむことをめざします。
ICF (サブ2)	2		○	○		○	ICFの考え方を、5ボックス エコマップに活用するための演習です。メイン科目『ICF』の補講で、メイン科目『ICF』を教室受講またはe-ラーニング受講していることを前提にしています。
医療統計 (サブ1)	4		○			○	メイン科目『医療統計』の演習を統計ソフトウェアを用いて行います。
医療統計 (サブ2)	4		○	○		○	医療統計を用いた臨床研究論文や疫学研究論文を読んで議論をします。統計を使うというよりも論文を理解するために統計を学びたい受講生を歓迎します。
医療統計 (サブ3)	4		○	○		○	保健医療計画立案演習を行います。表計算や統計のソフトウェアを多少使えることを前提にしています。
医療統計 (サブ4)	8	○	○	○	○	○	地域の複雑な保健医療の問題に対処するため、様々な数学的・統計的手法を用いた高度な計画立案を行います。受講後の実践についてもサポートします。
在宅医療各論 (サブ1)	調整中	○			○	○	食と栄養についての集中講義
在宅医療各論 (サブ2)	調整中	○		○	○	○	臨床宗教師の活動と連携についての集中講義
在宅医療各論 (サブ3)	調整中	○		○	○	○	ケアをめぐる法律的な問題についての集中講義
在宅医療各論 (サブ4)	調整中	○	○	○	○	○	古武術介護の集中講義
在宅医療各論 (サブ5)	調整中	○	○	○	○	○	各地域での出張特別講習会
在宅医療 同行実習	適宜						在宅医療実践現場への同行、あるいは、受講者が実践している在宅医療へ教員の同行

※ ICPC:International Classification of Primary Care 世界家庭医機構が1987年に出版し、現在は第2版ICPC-2。世界17カ国で標準分類として採用されている。

* ICF:International Classification of Functioning, Disability and Health WHOが2001年に採択した国際生活機能分類